

平成26年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

分類 番号	A 7	取組 名称	上賀茂神社・上賀茂地区が有する文化遺産の再発見とその活用
研究代表者：		文学部 (研究科)	職・氏名： 准教授・藤本仁文
研究担当者：京都府立大学 (文学部准教授・東昇、同准教授上杉和央、同講師向井佑介、生命環境科学部・講師・松田法子)、外部分担者・協力者 (京都府立総合資料館歴史資料課)、土橋誠 (京都府立総合資料館歴史資料課専門幹)、山本宗尚 (財団法人賀茂県主同族会理事)			
主な連携機関 (所在市町村、機関 (部署) 名)			
賀茂別雷神社 (以下、上賀茂神社)			
【研究活動の要約】			
<p>本研究の柱は①成果報告書である『上賀茂神社・上賀茂地区の地域史研究』を3月末に刊行すること、②府民向けの現地見学会「京都府立総合資料館寺子屋講座 京都の歴史を歩こう！—上賀茂編—」(3月14日)の開催を、歴史学科学生有志で行うデザイン研修と連携して行うこと、の二つである。</p> <p>具体的には、上賀茂神社日記・賀茂競馬記・算用状などの上賀茂神社所蔵の史料を閲覧・撮影し、その分析を行い、さらに足汰式・菖蒲根合儀・競馬会を見学し調査を行った。(5/1、5/5)。また成果報告書作成にあたって、研究代表者と執筆者が意見交換を随時行い、2013年度に提出された卒業論文1本・修士論文2本を改稿し、本研究報告書に掲載した。デザイン研修では、各自の調査を踏まえて7回の報告会、2回の準備遠足を行って意見交換し、見学会当日に備えた。</p>			
【研究活動の成果】			
<p>① 成果報告書『上賀茂神社・上賀茂地区の地域史研究』(全115頁)を3月末に刊行した。卒業論文1本・修士論文2本を改稿して掲載することで、教育と地域貢献を連関させる試みを行った。文献史学からの研究論文1本その他、文化遺産学からの論文2本、参考文献一覧1本を掲載し、分野を横断した幅広い視点からの報告書を作成できた。これまで研究成果をまとめ直し、今後の課題を整理していく土台ができたものと考えられる。</p> <p>② 歴史学科デザイン研修と連携して、3月14日に「京都府立総合資料館寺子屋講座 京都の歴史を歩こう！—上賀茂編—」にて、小学生・高校生を含む府民参加者30人を対象にした現地見学会を行った。府立資料館と連携しながら、学生が直接地域貢献を行っていく試みが一定程度成功したものと考えられる。なおその準備遠足として、2月10日に歴史学科対象、2月24日に府立大対象の現地見学会を開催した。</p>			
【研究成果の還元】			
<p>(開催した発表会・成果報告会等の開催日、場所、参加者等を御記入ください)</p> <p>「京都府立総合資料館寺子屋講座 京都の歴史を歩こう！—上賀茂編—」 (2015年3月14日10:00~12:00)</p> <p>集合場所：京都府立総合資料館、解散場所：上賀茂神社 参加者：府民約30名 (学生メンバー、教員、総合資料館関係者合わせて約60名)</p>			
【お問い合わせ先】		文学部 (研究科) 藤本研究室	職・氏名 准教授・藤本仁文
Tel: 075-703-5259		E-mail: fujimoto@kpu.ac.jp	

参考 (イメージ図、活動写真等)



足汰式の調査見学 (5/1)



総合資料館での絵図閲覧 (11/28)



3月14日見学会へ向けたプレ遠足 (2/24)